病院名：埼玉県立小児医療センター							
開設者		埼玉県知事　上田　清司					
病院管理者		病院長　岩中　督					
所在地		〒339-8551 埼玉県さいたま市岩槻区馬込2100番地					
連絡先		TEL：048－758－1811　　FAX：048－758－1818					
URL		http://www.pref.saitama.lg.jp/scm-c/index.html					
交通アクセス		JR宇都宮線蓮田駅東口から国際興業バス「小児医療センター」行きに乗車					
診療科目		小児科、（総合診療・未熟児新生児・代謝内分泌・腎臓・感染免疫・血液腫瘍・遺伝）、精神科、神経科、循環器科、ｱﾚﾙｷﾞｰ科、小児外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、小児歯科					
許可病床数（床）		一般	精神	感染症	結核	療養	その他
		300					
平均在院日数（日）		一般	精神	感染症	結核	療養	その他
		13.5					
臨床研修病院の指定区分							
医師情報	医師数	常勤	92	非常勤	35		
	学会認定専門医数	整形外科専門医3名、皮膚科専門医1名、麻酔科専門医6名、放射線科専門医4名、眼科専門医1名、耳鼻咽喉科専門医2名、泌尿器科専門医1名、形成外科専門医2名、病理専門医1名、外科専門医7名、救急科専門医1名、血液専門医5名、腎臓専門医2名、小児科専門医55名、内分泌代謝科専門医1名、透析専門医1名、脳神経外科専門医2名、心臓血管外科専門医2名、小児外科専門医3名、リウマチ専門医1名、臨床遺伝専門医2名、アレルギー専門医2名、周産期（新生児）専門医3名、小児神経専門医6名、小児歯科専門医1名					
	学会認定指導医数	日本周産期・新生児学会指導医1名、日本内分泌学会指導医1名、日本アレルギー学会指導医1名、日本リウマチ学会リウマチ指導医1名、小児血液・がん暫定指導医2名、血液指導医1名、臨床遺伝指導医1名、小児外科指導医2名、胸部外科指導医1名、泌尿器科指導医1名、麻酔科指導医3名、病理科指導医1名					
	学会専門医修練施設としての認定	日本小児科学会小児科専門医研修施設、日本小児外科学会専門医育成施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本医学放射線学会放射線診断専門医修練機関、日本医学放射線学会核医学診療専門医修練機関、日本脳神経外科学会専門医指定訓練場所、日本眼科学会専門医研修施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本周産期・新生児医学会専門医暫定研修施設、日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会臨床遺伝専門医研修施設、三学会構成心臓血管外科専門医認定機構機関施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本小児神経学会専門医研修施設、日本小児循環器学会小児循環器専門医修練施設					
	日大と人事交流のある科	未熟児新生児科・脳神経外科・泌尿器科・整形外科・リハビリテーション科・小児歯科					
	主な出身大学	日本大学・東京大学・東京慈恵会医科大学・順天堂大学・埼玉医科大学　等					
救急医療	位置付け						
	実績	救急外来数／日平均（件）	10	救急車取扱数／日平均（件）	2.3		
患者数／日平均（人）		外来患者数	551	入院患者数	236		
分娩件数／年（件）		0					
臨床病理検討会（CPC）実施状況		剖検数／年（件）	12	CPC開催数／年（回）	1		

病院の特徴・セールスポイント

当センターは一般的な病気から救急患者や重症例まで幅広く診療を行い、種々のカンファレンスも充実しています。医師数や病床数が全国最低レベルの埼玉県における三次医療機関であるために症例は豊富で、各診療科が高度な医療を行っていますので、将来小児科医を目指している医師には効率的で密度の濃い研修を行うことができます。

また、研修医の数が少ないために綿密な指導を受けることができますし、学会発表なども丁寧に指導を受けることができます。スタッフやレジデントは様々な大学出身者で構成されていますので、色々な大学のカラーが混在し、和気あいあいとした雰囲気の中で切磋琢磨しています。

平成28年中にはさいたま新都心への移転を予定しています。NICUを増床し周産期医療体制を整備する他、PICUを新設し救急医療体制も充実する予定です。新しい小児医療センターを一緒に創っていきませんか。